

カナダ留学を通じて学んだこと

私はカナダの文化に触れてみたいと思い、2週間のカナダ留学に参加することを決めた。カナダでは日本での生活では経験できない様々な貴重な経験を得ることができた。

カナダで過ごして強く感じたことは、カナダ人はとてもフレンドリーということである。私のホストファザーはいつも通りすぎりの見知らぬ人に話しかけていた。ホストファミリーと休日に行った Edmonton Heritage Festival では国ごとにブースが設置されており、そこでは各国の食べ物や伝統品が売られ、伝統の踊りが披露されていた。そこでもホストファザーはそれぞれの国の人に声をかけ、各国の挨拶を覚えていた。最初は驚きもあったが、慣れていくうちに素敵なコミュニケーションだと思った。その様子を見て私も通りすぎりの人に声をかけてみたところ、笑顔で話してくれてとても嬉しかった記憶がある。日本では見知らぬ人に声をかけるのは珍しく、また初対面の人との会話では避けるべき会話の内容がある。例えば、年齢や収入、政治などについての会話である。カナダ人はフレンドリーではあるが、初対面でタブーとされている会話は日本と同じであることを授業で学んだ。フレンドリーであるが、相手にも気を遣うカナダの国民性はとても素敵だと思った。

カナダではホストファミリーに様々な場所に連れて行ってもらい、多くの経験をする事ができた。休日にはホストファミリーのキャビンに行き、2泊3日のキャンプをした。そこではバーベキューや映画鑑賞をしながらホストファミリーとのんびりと過ごし、ホストファミリーとの会話を楽しむことができた。キャビンの近くには湖があり、カヌーに乗り自然を感じることもできた。キャビンに滞在している間、近くの町で開催されていた Festival にも行った。Festival ではカナダ伝統料理のプーティンを食べたり、地元の人との触れ合いを楽しむことができた。

カナダでの留学を通して私の英語力はスピーキング力がより必要だと実感した。私と同じように感じている日本人は少なくないはずだ。リーディング力やライティング力は参考書などを使って自分で勉強すれば向上することができるが、スピーキング力やリスニング力は実際に会話をする機会がなければ向上させることは難しいからだ。また、これには日本の教育方法も関係していると思う。日本の教育は、先生が喋り、生徒は黙って聞くというスタイルが定着している。しかし、カナダの授業はグループディスカッションやプレゼンテーションなど生徒の積極性が求められるものであった。このようなカナダの授業は生徒の興味を引き、生徒の理解をより高めると思った。文化の違いはこのような授業スタイルからも感じる事ができた。

カナダでの留学を通してより自身の英語力を上げて、いろいろな国の人とコミュニケーションを取れるようになりたいと思った。英語を上達させてからホストファミリーのもとへまた訪れたい。